

京都EVエコドライブラリー

京都府文化環境部環境政策課

京都エコドライブラリー

京都府と京都市は新年度、大学生チームが電気自動車（EV）でエコ走行ラリーを競う「EVラリー」を同市で初めて開く。温室効果ガスの削減を義務付けた「京都議定書」をきとめた地をアピールし、環境に優しい車に親し

電気自動車

ラリーは来年3月頃を予定し、市内の寺社などを巡るコースを設定。1チーム3人が交代しながら運転し、燃費ではなく、消費電力の少ない「電費」で順位を付ける。府や市、自動車メーカーなどが市販の

競う「電費」ならぬ「燃費」

EV20台を貸し出す。独自開発車の参加も検討している。府と市は、EV向け充電器の設置を進めており、現在は市内に74基ある。また、府と市は今年4月、温室効果ガスの大幅削減で数値目標を盛り込んだ条例を施行。府はEVの普及を主な施策として掲げ、市も排出量の多い事業所に、新車には「エコカー」を採用するよう義務付けている。

都大路で学生EVラリー



府と京都市来春開催へ 名所巡りエコ走行競う

京都府と京都市は2011年度中に、全国の大学生が電気自動車（EV）で市内をドライブする「EVラリー」を開催することを決めた。タイムではなく、電力使用量が少ない運転技術を開発するユニークな企画で、考えた。EVラリーは新製充電器を備えた社寺や名所をコースに組み込み、学生に京都観光をPRする効果も狙っている。府の構想は、全国の大学から20チーム程度を募集。11年度予算案に事業費220万円を計上。今春早々に市内を巡るラリーの検討委員会を立ち上げ、ゴールした後に走行

で使用した電力量を調べ、燃費ならぬ「電費」が良かったチームを表彰する。電気自動車の走行距離は160〜200キロしかないため、コース上にある充電ポイントに入るタイミングが勝負の鍵を握りそう。発車時のアクセルの踏み込み具合やブレーキのタイミングでも電力使用量は左右され、府は「学生がエコドライブに対する意識を高めるきっかけになる」（環境政策課）と効果を期待する。

（高野英明）

省電力運転競う

EV観光ラリー

来年3月、府と京都市

電気自動車の普及を目指し、府と京都市は15日、「京都EVエコドライブラリー」を来年3月に京都市で開くと決めた。市販されている電気自動車を大学生が運転し、市内の観光名所をめぐるながら、使った電気量の少なさを競うという。

この日、自動車メーカーや市観光協会で構成する実行委員会（委員長・郡篤孝同志社大教授）を設立。今後、具体的なコースや日程などを決める。市環境管理課によると、大会は府と市の連携事業で、運営費は580万円。府と市が半分ずつ負担する。（岡田匠）

9/16 朝日

日時: 2011年06月15日 21:30

エコドライブラリー 被災学生参加へ

KBSテレビ(第2)

(11/06/15)

今年度中の開催を目指す電気自動車によるエコドライブ・ラリーに、東日本大震災の被災学生も参加することになりました。

エコドライブ・ラリーは、京都府や京都市などが、CO2を排出しない環境にやさしい電気自動車の普及促進を目指し、今年度末に開催を予定しています。

きょうは、第1回の実行委員会が開かれ、環境政策が専門の同志社大学・郡篤孝教授が実行委員長に選出され、ラリーの具体的な計画について協議が始まりました。

ラリーは、京都が環境だけでなく、観光と学生のまちでもあることをアピールするため、京都の学生が観光名所を電気自動車で巡る構想になっていますが、きょうの会議では、東日本大震災で被災した東北の学生も招待しようという意見が出されました。